

大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム(ORION)

- ・救急車により搬送された患者の事案について入力をお願いします。
- ・救急隊が入力した病院前情報と紐付けて入力を行い、本登録までしていただく 必要があります。
- ・当月分の実績は、翌月の月末までに入力してください。初診時転帰が入院の場合は、
 受入から21日経過後の確定診断についても入力してください。









赤色・オレンジ色のバーが付いている項目は入力が必須です。順に入力してください。 ※後述の「初診時転帰」で「受診せず」を選択した場合、オレンジ色のバーが付いている項目は入力不 要です。

- +++	赤色のバー		(延続はデバリのも)22-10 たった	坦今 (*)(-)	
■ 基礎 (月報) 医 春機 関 久		~	文部ビタ 以外が進択された	승규, (~)la	、人力必須
来院経路	● 救急車 ● 病院車 ● 自己来院 ● 不明 ● その他		なたとに、白動で		
消防事案情報	消防本部 性別 太阪府統一 オレンジ色のバー	救急隊の入力した情報 入力されています。 誤りがある場合には、 正を行ってください。	医療機関で適宜修		
性別 (*)		来院日時:年月日	年月日酬		
年齢 (*)		来院日時:時台	└── 時台		
来院地域	└ ^地 域	地区	~		
中土等田山。	火医病機能与力防候吸与に手術の短い	- (こフニノズ115年)			
忠石官理NO	※医療機関毎米阮経路毎に重複の無いい	10 (ンステムで採番)			
患者識別情報1		(200文字)		順につ	
患者識別情報 2		(200文字)			

「初診時担当」の「診療科名」は該当するものをプルダウンで選択してください。 「初診時診断名」は下記のいずれかの方法で入力してください。

A: プルダウンによる選択

B:診断名やICD10コードからの検索



「初診時診断名」を入力すると「初診時処置」の「大項目」が自動入力され、入力箇所が新たに出現しますので、下記のいずれかの方法で入力してください。

- A:処置候補にチェック
- B:診療名やK/Jコードから検索して選択



- 「初診医評価」を以下の定義をもとに入力してください。 ・緊急度高 → 生理学的徴候の破綻または緊急処置が必要な場合
 ・緊急度中
 →
 緊急度高を除く、入院加療が必要な場合
 ・緊急度低 → 外来のみ 「初診時転帰」を入力してください。 ※入院を選択した場合は、(ICU/CCU/SCU)(HCU)(一般病棟)を選択してください。 ※転院を選択した場合は、初診時転送先の病院名を入力してください。

 - ・府内医療機関の場合 → 選択ボタンから検索して、入力してください。
 - ・府外医療機関の場合 → 直接入力してください。

					初	D診医調	平価を	選択		初診	時	転帰る	を選択			
初診医評価(最終判断)	適当		0	○ 緊急度低 ○ 緊急度中 ○ 緊急度高												
初診時転帰	転帰		0	○ 入院 ○ 外来のみ ○ 転院 ○ 死亡 ○ 受診せず												
如診時転送生	病院名				選択 がア (50文字)											
们影时轻达无	診療科	名	未	未選択												
初診時メモ				転院を選択した場合は初診時転送先の								の				
初診時患者背景	患者背景	裏(*)														
初診時要介護度区分 ※何れか一つを選択	要介護別	度区分	0	○ 該当あり ● 該当なし												
	意識	JCS :		~	GCS-E:		~	V:		\sim	М:		~	•		
病着時バイタル等 (初回)	血圧		/		mmHg	脈拍数		回/分	SpO2		%	呼吸数		回/分		
	体温		°C	血糖値		mg/dl										

「初診時患者背景」は、該当するものがある場合には「患者背景」で「該当あり」を選択した上で、該 当の「患者背景」にチェックを入れてください。



要介護度区分は、初期設定で「該当なし」が選択されています。 要支援・要介護度が判明している場合は、該当箇所にチェックをいれてください。 要支援・要介護が不要と判明している際は、【自立】にチェックをいれてください。 不明の場合は、「該当なし」を選択してください。

	要介護度区分 ◎ 該当あり ○ 該当なし							
	【自立】							
	日常生活は自分で行うことができる。介護保険での介護サービスは必要なし。							
	【要支援1】							
	日常生活はほぼ自分でできるが、要介護状態予防のために少し支援が必要。							
	【要支援2】							
	日常生活に支援が必要だが、要介護に至らずに機能が改善する可能性が高い。							
	【要介護1】							
初診時要介護度区分	立ち上がりや歩行が不安定。日常の中で、排せつや入浴などに部分的な介助が必要。							
※何れか一つを選択	【要介護2】							
	自力での立ち上がりや歩行が困難。排せつ、入浴などに一部または全介助が必要。							
	【要介護3】							
	立ち上がりや歩行などが自力ではできない。日常においても排せつ、入浴、衣服の着 脱など全面的な介助が必要。							
	【要介護4】							
	排泄、入浴、衣服の着脱な 能力の低下がみられる。	、入浴、衣服の着脱など日常生活の全般において全面的な介助が必要。日常生活 下がみられる。						
	【要介護5】							
	日常生活全般において、全	面的な介助が必要であり、医師の伝達も困難。	0					

「初診時転帰」で入院を選択した場合は、「■確定診断」についても「■初診」と同様に入力する 必要があります。

「21日後転帰」の転帰年月日については、下記のとおり入力してください。

- 入院の場合 → 21日目の日付
- ・入院以外の場合 → 転帰日(退院日、転院日、亡くなった日)

「初診時転帰」で「入院」を選択した場合は入力							
■確定診断							
確定担当	診療科名	未選択					
	大項目	\sim					
確定診断名	中項目	\checkmark					
	小項目	\checkmark					
	ICD10⊐−ド	検索 選択 クリア					
確定処置	大項目						
	転帰	● 入院 ● 退院 ● 転院 ● 死亡					
21日後転帰	転帰年月日	年月日					
確定転送先	病院名	選択 <u>りリア</u> ※選択にて存在しない場合入力					
確定診断メモ		(200文字)					

「本登録」または「一時登録」のいずれかを下記のとおり行ってください。
初診時転帰が「入院」で、「21日後転帰」の入力がまだの場合 → 「一時登録」
初診時転帰が「入院以外」または「21日後転帰」の入力が完了した場合 → 「本登録」
※入力が完了したら「本登録」を行ってください。
※入力を途中で終了する場合は、「一時登録」を行ってください。
※すべての項目が入力できたら、忘れずに「本登録」を行ってください。



救急搬送患者報告は原則、当月分の実績を翌月の月末までに入力を完了してください。 「本登録」まで完了すれば、救急搬送患者報告の作業は終了です。